

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公表番号】特表2008-512496(P2008-512496A)

【公表日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-016

【出願番号】特願2007-531440(P2007-531440)

【国際特許分類】

<i>C 07 D 209/38</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>C 07 D 491/052</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>A 61 P 1/04</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>C 07 B 61/00</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>A 61 K 31/407</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>A 61 P 1/16</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>A 61 P 19/02</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>A 61 P 31/12</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>A 61 P 35/00</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>A 61 P 29/00</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>A 61 P 25/24</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>A 61 P 31/10</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>A 61 P 31/04</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>A 61 P 43/00</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>A 61 P 25/28</i>	<i>(2006.01)</i>

【F I】

<i>C 07 D 209/38</i>	<i>C S P</i>
<i>C 07 D 491/052</i>	
<i>A 61 P 1/04</i>	
<i>C 07 B 61/00</i>	<i>3 0 0</i>
<i>A 61 K 31/407</i>	
<i>A 61 P 1/16</i>	
<i>A 61 P 19/02</i>	
<i>A 61 P 31/12</i>	
<i>A 61 P 35/00</i>	
<i>A 61 P 29/00</i>	
<i>A 61 P 25/24</i>	
<i>A 61 P 31/10</i>	
<i>A 61 P 31/04</i>	
<i>A 61 P 43/00</i>	<i>1 1 1</i>
<i>A 61 P 25/28</i>	

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月5日(2008.9.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

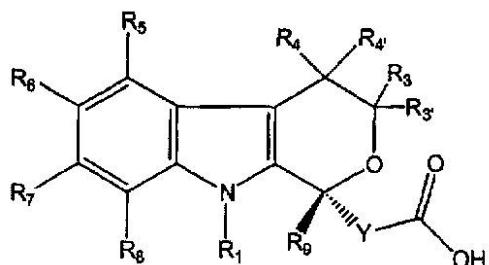
【補正の内容】

【0006】

[発明の概要]

本発明は、式(ⅤⅠ)：

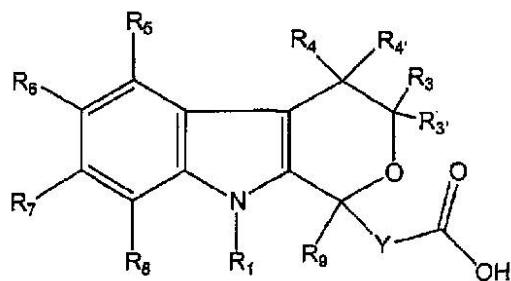
【化12】



(VI)

で表される化合物を、式(Ⅴ)：

【化13】



(V)

で表される化合物から合成する方法を対象としている。

[但し、R₁がH、炭素原子数1～12個の直鎖のアルキル、炭素原子数3～12個の分岐アルキル、炭素原子数3～12個のシクロアルキル、炭素原子数2～7個のアルケニル、炭素原子数2～7個のアルキニル、又は炭素原子数7～12個のアリールアルキル若しくはアルキルアリールを表し、これらの全ては必要により置換されていても良く、

R₃及びR_{3'}がHを表し、

R₄及びR_{4'}が相互に独立して、H、炭素原子数1～12個の直鎖のアルキル、炭素原子数3～12個の分岐アルキル、炭素原子数3～12個のシクロアルキル、炭素原子数2～7個のアルケニル、炭素原子数6～12個のアリール、フラニルメチル、炭素原子数7～12個のアリールアルキル若しくはアルキルアリール、炭素原子数2～7個のアルキニルを表し、これらの全ては必要により置換されていても良く、又は

R₄及びR_{4'}は、これらに結合する環の炭素原子をともなう場合、カルボニル基を表し、

R₅～R₈が相互に独立して、H、炭素原子数1～12個の直鎖のアルキル、炭素原子数3～12個の分岐アルキル、炭素原子数3～12個のシクロアルキル、炭素原子数2～7個のアルケニル、炭素原子数6～12個のアリール、炭素原子数2～9個のヘテロシクロアルキル、フラニルメチル、炭素原子数7～12個のアリールアルキル若しくはアルキルアリール、炭素原子数2～7個のアルキニル、フェニルアルキニル、炭素原子数1～8個のアルコキシ、炭素原子数7～12個のアリールアルコキシ、炭素原子数1～12個のフルオロアルコキシ、炭素原子数1～6個のアルキルチオ、トリフルオロメトキシ、トリフルオロエトキシ、トリフルオロメチルチオ、トリフルオロエチルチオ、炭素原子数1～7個のアシル、COOH、COO-C₁～C₁₂アルキル、CONR₁～R₃、F、Cl、Br、I、CN、CF₃、NO₂、炭素原子数1～8個のアルキルスルフィニル、炭素原子数1～6個のアルキルスルホニル、ピロリジニル、又はチアゾリジニルを表し、こ

これらの全ては必要により置換されていても良く、

R_{1-2} 及び R_{1-3} が相互に独立して、H、炭素原子数 1 ~ 12 個の直鎖のアルキル、炭素原子数 3 ~ 12 個の分岐アルキル、炭素原子数 3 ~ 12 個のシクロアルキル、炭素原子数 6 ~ 12 個のアリール又は炭素原子数 2 ~ 9 個のヘテロシクロアルキルを表し、これらの全ては必要により置換されていても良く、

R_9 が H、炭素原子数 1 ~ 12 個の直鎖のアルキル、炭素原子数 3 ~ 12 個の分岐アルキル、炭素原子数 3 ~ 12 個のシクロアルキル、炭素原子数 2 ~ 7 個のアルケニル、炭素原子数 2 ~ 7 個のアルキニル、炭素原子数 2 ~ 12 個のアルキルアルキル若しくはアルキルアリール、炭素原子数 1 ~ 8 個のシアノアルキル、炭素原子数 2 ~ 16 個のアルキルチオアルキル、炭素原子数 4 ~ 24 個のシクロアルキル - アルキル、炭素原子数 6 ~ 12 個のアリール、又は炭素原子数 2 ~ 9 個のヘテロシクロアルキルを表し、そして

Y が結合、 CH_2 、 CH_2CH_2 、炭素原子数 6 ~ 12 個のアリールを表すか、又は R_9 と Y が、これらに結合する環の炭素原子をともなう場合、炭素原子数 3 ~ 8 個のスピロ環シクロアルキルリングを更に形成しても良い。]；上記の方法では、式 (V) で表される化合物を分割剤と一緒に溶解させて、再結晶化によって式 (VI) で表される化合物を得る工程を含む。